

## 南九州市小坂ノ上遺跡の蔵骨器内火葬骨

Cremated Human Skeletal Remains from Kosakanoue Site, Minamikyushu

竹中正巳<sup>1)</sup>・宮城幸也<sup>2)</sup>

Masami Takenaka, Koya Miyagi

<sup>1)</sup> 鹿児島女子短期大学      <sup>2)</sup> 鹿児島県知名町教育委員会

南九州市知覧町小坂ノ上遺跡から出土した蔵骨器に納められていた火葬骨について、人類学的精査を行った。蔵骨器に納められた火葬骨の最小個体数は1体であり、成人のものである可能性が考えられる。性別は不明である。火葬の際の火のまわりにバラツキがあったことが骨片の色調からわかる。蔵骨器に納められた火葬骨の全重量は84.6gで、火葬された全身のごく一部の骨だけが納められたものである。

**Key words**：小坂ノ上遺跡、火葬骨、奈良時代、南九州

Kosakanoue site, cremated human skeletal remains, Nara period, southern Kyushu

### 1. はじめに

南九州市知覧町下郡に所在する小坂ノ上遺跡から蔵骨器1点（奈良時代末頃）が出土した（中山・上田，1995）。蔵骨器中には、火葬骨と鉄滓、鉄塊、礫が納められていた。南九州では、はじめての蔵骨器への鉄滓供献例である。蔵骨器中の鉄滓の分析から、薩摩半島南部において、古代に遡って砂鉄による製鉄がおこなわれていたことが化学分析によって明らかになった（中山・上田，1995）。

小坂ノ上遺跡から出土した火葬骨は、蔵骨器等とともにミュージアム知覧（南九州市）に保管されている。今回、この小坂ノ上遺跡の蔵骨器中の火葬骨について、人類学的検討を行ったので、その結果を報告する。

### 2. 火葬骨の重量、同定部位、性状

蔵骨器に納められていた火葬骨の全重量は、84.6gであり、少ない。四肢の長骨片が多く、肋骨、手足の指などは認められない。部位同定が確実にできたのは、大腿骨、頭蓋の側頭骨錐体部と第1頸椎椎弓部だけであった。最小個体数は1体である。

火葬骨は、受けた熱の程度にもよるが、歪み、縮小、細片化をきたし、変色する。本蔵骨器中の焼骨も火葬骨特有の亀裂や反り、歪みのある破片が含まれていた。火葬骨のサイズは、最大でも長径が4cmしかない。蔵骨器に収める前に、破碎し、細片化した可能性が考えられる。

本火葬骨の色調は、黒色に近い灰色から白色と様々である。色調で火葬骨片を分けると、骨の表面から内側のすべ

てが黒色に近い灰色のもの、骨の内外表面は白色で内側が灰色のもの、骨の表面から内側のすべてが白色のものの3種類に大別できる。黒色に近い灰色を示す骨片が最も多く、全体が白色を示すものが最も少ない。全体が白色を示すものの約3倍量が、骨の内外表面は白色で内側が灰色のものである。黒色に近い灰色を示すものは約5倍量ある。

全体が白色を示す骨片は少なく、色調がばらつくことから、遺体を火葬の際、それほど高い温度で焼かれたわけではない。また、体の部位によって、よく火がまわり、高い温度で焼かれたところと、そうではなかった部位があったことがわかる。

### 3. 性・年齢

性判定が可能な部位が遺存していない。そのため、性別は不明である。年齢は、大腿骨の厚さを考えると成人の可能性が考えられる。

### 4. 考察

小坂ノ上遺跡の蔵骨器に納められた火葬骨の最小個体数は1体であり、成人のものである可能性が考えられる。性別は不明である。火葬の際の火のまわりにバラツキがあったことが骨片の色調からわかる。蔵骨器に納められた火葬骨の全重量は84.6gで、火葬された全身のごく一部の骨だけが納められたものである。

蔵骨器中の焼骨量が少ない場合、拾骨を丹念に行わなかった可能性、分骨、二次的な改葬などが理由として考え

られるが、小坂ノ上遺跡の例が、どのような理由でこの程度の納骨量になったのか確定はできない。

小坂ノ上遺跡を含め、これまでに報告された鹿児島および宮崎県出土の火葬骨例は25例に上る（表1）。両県下の火葬骨例の内、納骨量が1000gを超えるものが5例ある。

納骨量が400g～1000gの範囲のものが9例、100g～400gの範囲のものが3例、100g未満のものが5例ある。ほぼ全身を拾骨埋納した例もあれば、全身のごく一部しか納骨していない例もある。なぜなのであろうか。また、火葬骨から性別判定が可能な例はすべて男性骨であった。火

葬は男性を中心として行われたのであろうか。これらの理由を解明していくことが今後の南九州の火葬人骨研究の一つの大きな課題でもある。

## 参考文献

中山光夫・上田耕. 小坂ノ上遺跡出土の古代の蔵骨器と埋納鉄滓について. ミュージアム知覧紀要. 第1号. 1995

(2022年12月22日 受領／2023年1月12日 受理)

表1. 鹿児島県および宮崎県出土の火葬人骨

遺跡名	所在地	容器・遺構	時代	性・年齢	重量(g)	報告者(年)
小坂ノ上遺跡	南九州市知覧町	蔵骨器	奈良時代末頃	性別不明・成人	84.6	本報告
清水摩崖仏群	南九州市川辺町	納骨穴	鎌倉時代	男性・熟年	755	竹中(2021)
上多々良石棺墓群 単体蔵骨器	延岡市	須恵器壺	9世紀	男性・壮年後期～熟年	691	竹中(2007)
上多々良石棺墓群 蔵骨器A	延岡市	須恵器壺	9世紀	男性?・壮年後期～熟年	487	竹中(2007)
上多々良石棺墓群 蔵骨器D	延岡市	須恵器壺	9世紀	?・壮年後期～熟年	42	竹中(2007)
上垂門の火葬墓	宮崎県川南町	須恵器壺	奈良後～平安前	男性・壮年後期	約2030	高橋・竹中(2007)
迫内遺跡	宮崎市	古瀬戸瓶子	13世紀後半	男性・熟年	493	峰・竹中(2002)
平田迫遺跡A 甕	宮崎市(佐土原町)		15世紀	?・成人	25	竹中他(2000)
平田迫遺跡B 甕	宮崎市(佐土原町)		15世紀	?・成人	35	竹中他(2000)
横尾原1号	都城市	須恵器壺	奈良	男性・熟年	1110	峰他(1992)
横尾原2号	都城市	須恵器壺	奈良	?・成人	630	峰他(1992)
大迫第1遺跡 蔵骨器	えびの市	土師器壺	平安	男性?・壮～熟年	914.4	竹中(2020)
財部城ヶ尾遺跡 蔵骨器	曾於市財部町	土師器短頸壺	9世紀後葉～10世紀	男性?・成人	610	峰(2005)
黒田B遺跡	曾於市財部町	土師器甕	奈良	?・?	570	松下(1984)
小平遺跡	曾於市末吉町	須恵器壺	平安	?・?	110	松下(1984)
川北古石塔群	鹿屋市吾平町	成川式壺	鎌倉	男性・熟年	1150	松下(1984)
越ノ巣火葬墓	薩摩川内市	須恵器壺	奈良	男性・成人	870	小片(1988)
栗野第1例	始良郡湧水町(栗野)	須恵器壺	平安?	?・成人	290	未報告
栗野第2例	始良郡湧水町(栗野)	須恵器壺	平安?	?・成人	780	未報告
谷山弓場城跡	鹿児島市	須恵器壺	平安～鎌倉	?・?	25	小片他(1992)
小中原遺跡	日置市金峰町	土壙	平安	?・?	250	小片他(1991)
白樫野火葬墓	日置市金峰町	土師器壺	8世紀後半～9世紀初頭	?・壮年後期～熟年	1650	宮下(2000)
広田遺跡	熊毛郡南種子町	土壙	古墳時代	多数個体	不詳	国分・盛園(1958)
広田遺跡	熊毛郡南種子町	土壙	古墳時代	?・成人	不詳	竹中(2007)
喜念クバンシャ 岩陰墓	大島郡伊仙町(徳之島)	岩陰	不詳	成人4～5個	480	小片他(1988)